

<第3期の『ここすき!』が終了しました>

残暑が厳しい9月に始まった第3期のここすき!も、台風シーズンを通り過ぎ、いつのまにか寒い冬の季節を迎え、早くも終了となりました。

今年の秋は台風や雨の日も多く、大変だったと思いますが、お母さんたちは、雨にも負けず週2回頑張って通ってきてくれました。

初めのうちは、親子共々不安だったと思いますが、終わりが近づくにつれ、すっかり場所にも友だちや大人にも慣れ、「もっと通いたい!」との声がたくさん聞かれるほどでした。

集まって「おはよう」の挨拶をする時にも、なかなかお母さんの膝から離れられなかったり、体操をする時にお母さんに抱っこしていた子たちも、回数を重ねるうちに、緊張感が取れ、お母さんから離れて遊べるようになり、体操も楽しそうに身体を動かせるようになりました。週2回、通ううちに、10人の友だちと顔見知りになり、楽しい活動や遊びをする中で、後半になると、自信を持ってにこにこ笑顔で通ってくるようになりました。

ここすき!では、「みんなでおはよう(のあいさつ)をするから、おもちゃを片付けて集まるよ」「これからやることをお話するから、座って」などと、次の行動の見通しが持てるような声掛けをします。また、毎回朝の集まり、主活動、自由遊び、絵本を見て、帰りの会・・・と、同じ流れを繰り返すことで、子どもたちの中に見通しが持てるようになりました。

「次は、〇〇の体操をするよ」と声掛けをした後、どうするかな?と見ていると、自分で気づいて立ち上がる姿があります。できるだけ、子ども自身が気づいて行動できるように見守ります。他の子に、「靴下を脱ごうね」と声をかけるのを聞いて、そうだった!と気づいて、あわてて靴下を脱ごうとする子もいました。



↑大事なノートは、両手でもらいます



友だちと一緒に、気持ちを合わせて片付けます



初めての椅子にドキドキ



お母さんたちは、「1歳児の子がこんなことまで自分でできるとは思わなかった」と、よくおっしゃいます。子どもたちは、大人のすることをよく見えていますし、自分も同じようにやってみたいと思っていることもたくさんあります。そして、やれる力があります。ここすき!で、靴下を脱いで自分のロッカーにしまうことが定着してきたI君は、「家で靴下がないと探していたら、カラーボックスの棚の中に入っていました」と、お母さんが笑って教えてくれました。

アンケートからは、ここすき!に通ってからのお子さんの変化について、「人に挨拶をするようになり、ただいま、おかえりも言えるようになった」「お片づけをすすんでやってくれるようになった」「おもちゃの取り合いになった時に、少しずつどうぞと譲ってあげられるようになった」「順番を待つということを少しずつ我慢してくれるようになった」等々、たくさんの成長が見られたことがわかります。

また、ノートには、親子ともに成長したといううれしい感想がたくさん書かれていました。そのいくつかを紹介します。

- ここすき！に参加するまで前まで、まだ集団は早いのでは？親子とたっぴり過ごせばいいのでは？と思っていましたが、ここすき！で一つ一つ意図をもってやって下さっていることが、子どもと私の成長につながり、子どもの著しく大きく成長していく姿を目の当たりにしました。
- ここすき！の友だち5人が集まり、遊びました。友だちと一緒に会話したり、滑り台、ブランコ、5人が集まって遊んでいる姿もありました。すてきな友だちができて良かったです。
- 参加回数を重ねる度に、できる事が増え、親としても嬉しく、そして様々な発見や思いもありました。なかなか身近で子育てについての話をする機会が多くない中、ここすき！のお母さん方との交流は、とても大切な時間でした。
- ここすき！に通うようになって、絵本が大好きになりました。特に先生方に読んでもらう絵本が大好きですが、家でもよんで～と持ってくるようになりました。お友だちと一緒に笑ったり、動いたり、反応したり…先生とお友だちのお陰で“絵本って楽しいな”と気づいてくれました。家でもできるだけたくさん、絵本を読んであげたいなと思います。
- ここすき！に参加したことで、我が子を知ることができました。好きなところはもっと伸ばして、苦手なことは少しずつ生活に取り入れていきたいです。1歳半という、かわいいけれどもとても大変な時期にここすき！に来ることで、親子の関係にとってもいい影響を受けることができたと思っています。ここすき！で感じた気持ちを忘れずに、これからも親子で成長していきたいです。



↑楽しく遊んでいる間、
お母さんはおしゃべりタイム

全21回という期間の中で、楽しみながら全身を動かす体操やダンス、手先を使ったシール貼りや、新聞紙ちぎり、小麦粉粘土、ひも通し、城山への散歩、バスごっこや買い物ごっこなどのごっこ遊びなど、1歳児の発達に見合った遊びや活動を取り入れてきました。

初めは尻込みしている子も、次はやってみようと思えるように、できるだけ一つの活動を複数回行うようにしました。手遊びや絵本も同じものを続けることで、子どもたちが手遊びを覚えて楽しめたり、絵本の内容も興味を持って見るようになりました。

毎回、お母さん方にその日の活動のねらいを伝えたり、また、乳幼児期につけてほしい力について、テーマを決めて話し合いをする中で、ここすき！の考え方や大切にしたいことを知ってもらい、子どもに同じような働きかけをしていただけるようになりました。また、他のお母さんたちのさまざまな考え方を知り合え、自分の子育てにとっても参考になったという声もたくさん聞かれました。

子どもにとっても、保護者にとっても、楽しく遊べ、安心できる場となっていますので、これからもぜひたくさんのお母さん方に参加してほしいと思います。